

1 開催日時

令和7年2月7日（金） 午前9時50分～午前11時20分

2 委員会委員

税理士 岩佐 誠志
弁護士 島内 保彦（委員長）
大学准教授 竹本 豊

3 議事

（1）審査対象抽出

審議対象は13件であり、抽出は行わず全て審議した。

4 抽出案件の審議結果

審議案件について、以下のとおり、各委員との質疑応答等がなされたが、徳島労働局公共調達監視委員会設置要綱第9条に定める委員会から局長に対する「意見の具申又は勧告」は行われなかった。

（1）整理番号2（鳴門労働基準監督署 浄化槽蓋取替工事）について

（委員）急いで工事を実施した理由はあるのか。

（事務局）浄化槽点検業者から浄化槽の蓋が経年劣化により、いつ落下してもおかしくない、至急通行止めにして修繕する必要があると指摘を受けた。浄化槽が設置されている場所が駐車場の真下のため、駐車時に浄化槽の上を通過する頻度が高い。自動車が通過中に浄化槽の蓋が落下すると、乗員及び車両に被害を与え、浄化槽にも損傷を与え浄化槽が使用できなくなる可能性があるので緊急修繕を実施した。

（2）整理番号3（徳島公共職業安定所 2階通信機械室エアコン設置工事）について

（委員）壁に穴をあけるような工事があればすべてアスベスト調査を実施するのか。

（事務局）建物の建築時期や施工場所等にもよるが、今後も、穴をあけるような工事で粉塵が発生するような場合は事前にアスベスト調査を実施する。

（3）整理番号7（美馬公共職業安定所 監視カメラ新規購入・設置）について

（委員）予定価格と契約金額が大きくかけ離れている理由はあるのか。

（事務局）予定価格積算のため見積書を提出してもらった際に、見積価格はメーカーの定価でしか算出できないとのことであった。このため入札時の価格は、メーカーから機器購入時の値引き交渉と企業努力により、低い価格での契約となっている。